

## 第六期第1回板橋区緑と公園の推進会議 議事録

日 時 令和5年6月15日(木) 9時30分から11時50分

場 所 第二委員会室(北館11階)

出席者

委 員 池邊委員、萩野委員、佐藤委員、山口委員、小林委員、篠原委員、  
春日委員、安田委員、藤田委員、尾竹委員、西山委員 (計11名)

区役所 河島課長、歌津所長、堀井係長、寺尾係長、高野副係長、武内副係長、  
佐藤係長、黒澤係長、古賀、加藤、西村 (計11名)

### 1 開会

#### ○みどりと公園課長

本日はお忙しい中ご出席いただきありがとうございます。

板橋区緑と公園の推進会議は平成24年度に設置されて今回で6期目となる。

この会議体は、いたばしグリーンプラン(緑の基本計画)の中の様々な施策について、その進捗管理や、施策に対する提案・助言をしていただくものである。

今回、13名のうち6名の方が新規となっており、大幅にメンバーが変わっているが、これまでのメンバーが培ってきたものに加え、新しいものを作り上げていただきたい。

第5期までは、主に緑化啓発に関する議題を主に扱ってきたが、第6期については、「公園の魅力アップ」や「公園の使い方」に関する議題にも取り組んでほしい。例えば、みどりと公園課では「ボール遊びができない」という課題を抱えている。また、公園の使い方というところでは、区で以前にパークアドバイザーという制度の立ち上げを試みて、ジャンパー、ポロシャツ、帽子を作っており、そういったものを活用しながら、公園の使い方の指導等の活動を、地域の方と協力して行いたいと考えている。広い視野で公園に関して議論していただきたいと思っている。

### 2 委嘱状交付式

(板橋区長名の委嘱状を各委員へ伝達実施)

### 3 議事

#### ○事務局

これより次第に沿い、板橋区みどりと公園の推進会議の議事を進める。なお、附属機関等の会議の公開に関する基準により、会議の公開は会議の傍聴、会議の記録及び会議資料の閲覧の機会を提供することとなっているため、写真撮影及び録音する。あらかじめご了承ください。

(配布資料の確認)

#### (1) 委員自己紹介

#### ○事務局

今回の推進会議は、第6期の第1回目の推進会議となり、新体制で臨む初めての推進会議となるため、各委員より自己紹介をしていただく。自己紹介は、事前にご提出いただいた自己紹介シートをもとに、1人2分程度でお願いする。

(委員、みどりと公園課長及び事務局4名からの自己紹介)

#### ○事務局

事務局以外には、赤塚植物園の管理担当部署のみどりと公園課みどり推進係係長、副係長が出席している。その他、現場の管理部署の南部土木サービスセンター地域連携係係長、北部土木サービスセンター、センター所長、同じく北部土木サービスセンター地域連携係係長も出席している。

### (2) 座長選出

#### ○事務局

座長については、板橋区緑と公園の推進会議設置要綱第4条4項で、「推進会議には座長を置き、原則として大学教授の地位にある学識経験者をもってこれに充てるものとする。」としている。

(事務局から座長を推薦し、委員から承認を得た)

これから議事進行を座長にお願いする。

#### ○座長

ぜひ皆さまの力で、区民の方に、「**推進会議**ってこんなことやっているんだ、私も参加してみたいな」と思ってもらえるような活動をしたい。

推進会議の要綱で、座長が欠席した際の職務を代表する構成員を指定することとなっている。

(座長から職務代理の委員を指定)

今日は議題が多いので、早速議事に入る。紙資料が多く、細かな資料となっているが聞いていただきたい。なお、本日は11時半までと時間が限られているため、全体の説明が終わってから質疑の時間を設ける。ご協力お願いします。それでは、議事(3)の「板橋区のみどりについて」ということで、事務局よりご説明をお願いします。

### (3) 板橋区のみどりについて

#### ○事務局

(資料1に基づいて説明)

#### ○座長

それでは時間が遅れているので、次の議事について説明をお願いします。

### (4) 板橋区緑と公園の推進会議について(概要紹介)

#### ○事務局

(資料2に基づいて説明)

#### ○座長

次は本来であれば樹林地管理方針の報告だが、時間が迫っているため次回に回させていただく。続いて、議事(6)について手短かに説明していただくようお願いします。

## (6) 第六期推進会議の議題について

### ○事務局

(資料4に基づいて説明)

## 4 その他

### ○座長

11時半に退出する委員から意見をいただき、その後10分ほど時間をいただいて、皆さまから一言ずつ、ご意見やご質問いただきたい。

### ○委員

赤塚植物園もよく行っていて、楽しいところだと思っている。おそとカフェで実施していることが活かせると思う部分もあった。食事をする、植樹をする、赤塚の町のをケータリングで持って来る等、また赤塚に来たいと思ってもらえるような、**リピーターを増やすようなイベント**を行っていききたい。引き続きよろしく願います。

### ○座長

赤塚地域には、竹の子公園、赤塚溜池公園、そしておそとカフェ等、いいものが集まっているにも関わらず、**足の便が悪いせいであまり区民に知られてない**。ぜひそこを活性化したらどうか、というご提案だと受け止めた。ぜひよろしく願います。

### ○委員

今日初めての方もいるが、最後の方、わかりづらかったかもしれないので補足質問をする。

推進会議の目的として、グリーンプランを実現・推進していくということだが、グリーンプランの101ページから、「計画推進に向けて」ということで、計画をI期、II期、III期でやっていくと書いている。それと、資料2-2が似た構成になっており、グリーンプランの項目と合致している。**推進会議ではグリーンプランの進捗状況を見ていくが、資料2-2はそのための資料**ということ間違いはないか。

### ○事務局

そういった資料である。

### ○委員

この推進会議でどこを重要視していくかということについて第4、5期で話し合いを行ってきており、「**みどりと楽しむライフスタイルの推進**」に着目してきた。その中に赤塚地域の活性化や赤塚植物園の活用という項目があり、その点を軸に話し合う中であがったアイデアとしてガイドツアーがあり、実際に試行してきたのが第5期、ということ間違いはないか。

### ○事務局

そのとおりである。

○委員

第6期はそれをさらにブラッシュアップしていくために、参考資料4-3のように、赤塚植物園でやってみたいことについて第6期は話し合っていく、ということか。

○事務局

そのとおりである。

○委員

今回いろんな思いを持って皆さん来られているので、この赤塚植物園の話はもちろんだが、その他のプログラムについてこの推進会議の中で話し合っていくような時間を設けることはできるのか。今のところ赤塚植物園を変えていく方向になっているが、それ以外のことについてはどうなのか。

○みどりと公園課長

この赤塚植物園のガイドツアー等、今まで関わってきたものは実現させたいと思っているが、それ以外にも幅を広げて、様々な議論をしたいと思っている。時間が限られるというところが課題だと感じている。

○委員

可能な範囲で議論できればよい。

○座長

第3期までの推進会議では、色々なパネルを貼り、色々なワーキングをまとめ、それから検討する、ということに取り組んできたが、最初から取り組むとなると、提案の手前ぐらいまでで任期が終わってしまうということが続いていた。そこで、第4、5期には継続してあるテーマについて皆さんに意見をいただくということで進めてきた。この赤塚のテーマは、区や私ども学識経験者からではなく、委員さんの方から「赤塚には色々な公園やおそとカフェ等があり、非常にポテンシャルがあるのに意外に使われてない地域」ということで選ばれている。今回第6期の委員の皆さんの思いは、この赤塚地域だけでは実現できないものもあるはずである。そういうものについては、今回他部署の職員も参加しているように、事務局が関連部署との連携を強めていくという思いを持っているので、皆さんの協力が得られるということで、公園にかかわらず、ご意見をちょうだいできると考えている。ただ、赤塚植物園のガイドツアーについては、是非ともこの任期2年間の間で、皆さんのご意見をもって深めて、区民の方に参加していただけるようなプランとして作り上げ、できれば実現したいというのが、事務局の方の思いだと受け止めていただきたい。よろしく願います。

○委員

参考資料4-2のタイトルが「試行した7案」となっているが、試行までは行っていないため、修正したほうがよい。「試行の検討をした7案」というのが正しい。この7案を出して、現地赤塚植物園でワークショップをしよう。それから、赤塚植物園だけでなく周辺地域のまちづくりにつなげていこう、という趣旨の案が多いので、周辺地域を皆さんで見回ったと思う。その辺を

ご理解いただけるようにしておく必要がある。

#### ○座長

参考資料4-2は、ガイドツアー+αだけでなく、二次元バーコードの活用や、エコポリスセンターで行っているフォトや絵のコンテストを赤塚植物園でやったらどうかとか、フォトスポットを作るとか、見どころマップをつくるとか、色々なお話をしていたのを、事務局の方がまとめたものだとご理解していただきたい。

#### ○委員

私自身、赤塚植物園のガイドツアーのことを今まであまりよく知らなかった。私の認識不足だったら問題だが。このガイドツアーの広報はどうなっているのか。参加する人はどのようにこのプランを知るのか。

#### ○座長

まだ広報はしておらず、このガイドツアーを試行的に行ったのは推進会議のメンバーだけである。

#### ○委員

それを広げていくのにはやはり**広報が必要**である。その時はどのような媒体を使うのか。

#### ○事務局

検討段階だが、ホームページや、「広報いたばし」という区の広報誌を考えている。また、みどりと公園課でツイッターを立ち上げており、周辺の緑の情報・啓発も含めた、公園の状況等をお伝えしているが、そのような媒体を用いて広報していきたい。あとは委員の皆さまからも、宣伝の場を紹介していただきながら、あらゆる媒体を使っていきたい。

#### ○委員

緑と公園の様々な施策は、一般区民が広く参加してくれないと成り立たず、**どうしても私たちだけの力では無理なところがある**。そのため、**一般区民にどのように伝えていくのか**というのが、**重要なファクターの一つになる**と思う。

#### ○事務局

そのとおりである。また、参加していただける方はもちろん、共同して動く機関も大切だと考えている。ガイドツアーをやるときに、板橋区が単独で行うのではなく、この推進会議でガイドツアーの方向性を示した後、実際に動くのは他の団体、実行委員会などの組織を想定している。そのため、参加者だけではなく、一緒に動く方もより広く募り、資料4のなかで、拡張性を今後は意識して進めていくと説明させていただいたが、色んな分野や世代の方に参加していただき、将来につなげていくような活動を進めなければいけないと思っている。

#### ○委員

私の家の前は店になっており、小麦を4月ごろから5月ごろまで出している。そうすると、子供

たちが「なにこれ」と言う。それに対し、「これみんな食べてるんだよ、ラーメンとかパンになるんだよ。」と答える。すると、「へえ、これで出来てるんだ」と言う。小麦を知らない子がほとんどで、そういう実態もあるし、親も一緒になって知らなかったりもする。なので、色んなものを展示して見せるということが必要だと考えている。その他にも、大根の種にしても、大根の花を持ってきて、それがさやになって種になるが、通りがかりの人たちのほとんどが「私初めて見ました」と言う。そのようなことを考えると、ただ単純に木だとか花だとかじゃなくて、農業関係の人もいるのであれば、そのようなものも**展示して見せていくというのが、啓発の一つの肝になる**と思う。

### ○座長

非常にありがたいご意見ありがとうございます。私も実は、落花生がなぜ落花生というのかを千葉大学に行ってから初めて知った。

赤塚植物園の中では、関連の本もたくさん展示してある。小麦がパンや麺類、パスタだとか、そのようなものになっているという展示も、赤塚植物園の中の部屋でできる。食べることを食育と言っている傾向があるが、食べることだけではなくて植物とか農の世界を入れてみるというのは非常に大事なことである。このようなこともぜひプランの中に入れていければいいと思う。**ターゲットは、第5期ではお子さんを持つお母さんとか、若い方々に参加していただきたいという意見があった。**また、植物園が好きな方はもう既に赤塚植物園に来ていただけているので、そうではなく、初めて赤塚地域を訪れるとか、そのような方々にどのように興味を持っていただけるかというものがあつた。このようなことの実現のために、私どものこの第6期の委員としては知恵を出していきたい。今とてもいいヒントをいただけた。ありがとうございます。

### ○みどりと公園課長

大根の花がよくわからないとか、種の話があつたが、赤塚植物園の農業園では、実際に野菜を現地に植えて、最後、花を咲かせて種を取るところまでを見せるポタジェという花壇もある。そんなところも活かしていただけたらいいと思う。

### ○座長

各委員、一言言っていただければと。

### ○委員

お話の中でエコポリスセンターの名前もいっぱい出てきた。参考資料4-1から4-3まで見たが、参考資料4-1でアクションプランの方向性について具体的に検討が進められてと思ったと同時に、エコポリスセンターと連携できる部分もあると感じた。ただ、エコポリスセンターもかなり事業数が多く、早めに事業も決まってしまうため、ある程度この場で色々な情報を得て連携できる部分は取り入れていきたいと思っている。特に参考資料4-1の「環境保全の啓発」の部分では、**エコポリスセンター登録環境団体**というところで赤塚の**とんぼ池のビオトープの管理**をしている**団体**がいるため、そういったところを紹介させていただくことも**可能**であり、そこも含めて考えていきたい。早めに進めていければと思う。

## ○委員

赤塚植物園のこともよくわかっていないため、**行ってみないといけない**と痛感している。板橋の地図の中にもたくさん公園があるので、自分なりに見学してみたい。

## ○委員

第4、5期と参加させていただき、だんだん絞られてきて進んでいると感じ、とても楽しくなってきた。エコポリスセンターとの連携という意見がこれまで出ていたが、委員としてエコポリスセンター職員に入っただけで、さらに進んでいると感じる。ただ、**アクションプランだけに集中するのではなく、他の課題についても目を向けていきたい**と思う。ボール遊びの問題があることを知り、そういったところも課題として取り組めたらいいと思っている。

## ○委員

昨日までは、「こうだったらいいな」という一住民の願望を廻らせていたが、もうすでに随分と研究されていると知ったので、皆さまに追いつくまで勉強しなければいけないという気持ちでいっぱい。また、公園や緑のことを考えているうちに道路がすごく好きだということに気がついた。町並み、街路、その辺りも含め、**うまく道路を使っていくと、公園機能を持たせられる**と思っている。環状八号線と中山道の交差点は掃除がされていないが、「もっと綺麗でシンボルツリーがあったらいいな」等、拡散して物事を考えるタイプなので、そのようなことも含めて緑や公園について考えていきたい。また、東坂下の浸水予定地域を、どのようにグリーンでカバーしていくかを考えるのが楽しく、面白い考え方かなと思っている。色々ご指導いただきたい。

## ○委員

第5期から参加させていただき、最初は赤塚植物園のことを知らなかったが、推進会議を通して魅力を感じ、会議でも個人的にも行くようになった。かなりボリュームのある情報を絞り込み、今回は**計画だけではなく実施に向けていくことに携われることが非常に楽しい**。また、これまでの検討してきたガイドツアーだけではなく、**公園でのボール遊びや花火等**についても今後考えていただけるということで、楽しみにしている。よろしく願います。

## ○委員

推進会議には3期目の参加となる。

まず公園をどのように利用したらいいか、どのような形で人に来てもらうか、ということを考えていく必要があると思っている。私は業者の代表として参加しているが、今までに板橋区の仕事を色々やらせていただいている。昭和50年からこの仕事に入り、現在に至っているが、板橋区の公園の造成に関して93か所、代理人か監理技術者という形で携わってきた。平成4年以降は代表取締役になったため、そのような形で参加できなかったが、実際には現場に行っ一緒に努力しながら工事に携わっている。**一生懸命作ったその公園がなかなか利用されないというのは本当に寂しいことである**。赤塚植物園については初代からずっと関わっており、18期まで仕事をやって作った公園だが、公園の造成はとても大変な仕事なので、その中で完成させたものがなかなか利用されていないということ、また、**板橋区で知らない方がいらっしゃるのは本当に寂しい**。

コミュニティスクールもやっており、先日学校の方と話す機会があった。その際、「赤塚植物園をぜひ使ってほしい、できれば他の学校にも広げてほしい」という話をした。子供たちを連れ

てきてあのようなものを最初に見せ、実際にその子供たちの中で感じ取って、それを引き継いでどんどん成長していってもらう、これが実現できれば、公園や農に親しみある区にできている。

また、**板橋区には目玉になる公園がない**と感じている。大きな話になるが、練馬区には豊島園も出来た。あのようなテーマパークみたいなものがないので、**どうしたら人を引きつけることができるのか**が難しい話となる。3期委員をやる中で、一番難しいのは作るのではなく人に利用してもらうことだと感じた。実際に、お金をかけて造った公園が全く利用されないところも出てきている。特徴のない公園ばかりだと、同じところ行っても一緒だよという話になってしまう。赤塚に住んでいるが、周辺には赤塚植物園、赤塚溜池公園、郷土資料館や美術館が全部揃って繋がっている。それらを一般の方々に見てもらうような施策も、これからどんどん進めていくべきだと思っている。今期皆さんと色々な形で話を出し合い、一步でもそのような方向に進めていければいいと思っている。よろしく願います。

### ○委員

赤塚植物園に行かれたことのないかたもいるということで、どんな風に使われているのかとか、活かされているのかということについて知っていただきたい。また**どこかで赤塚植物園に行く機会をつくれたらいい**と思った。現地を見てみないとなかなか意見もできないと思う。また、赤塚植物園自体が今どのような事業をしているのか、そこをしっかりと知った上で推進会議の内容も進めていけるとよいので、植物園の方にもお話していただけたら良いと思う。

### ○座長

最後になるが、赤塚植物園は万葉集がテーマになっている。このように、**板橋区は文化も様々な資源があり、歴史も深い**。公園だけではなく、子供たちや新しい住民の方々に、板橋区民として誇りを持っていただくためにも、地域の文化も含めて皆さんに知っていただきたい。

本日は資料が多く、時間も飛ばしながらになってしまい、ご意見を言っていただく時間も短かったが、次回からは皆さま方に意見を言っていただく機会を多く設ける。今回は樹林地管理方針の説明をさせていただき、その後、皆さま方からご意見をいただきたい。

また、第5期のときも、2回赤塚植物園で案内をしていただいた。足の便は悪いが、最低2回、皆さんで赤塚植物園の見学をしたり、今回はおそとカフェの話も出てきたので、そちらも含めて見学させていただけるような、機会を作りたい。よろしく願います。

事務局にお返しする。

### ○事務局

座長、長時間の議事進行ありがとうございました。事務局としては、今後進行方法については改善に向けていきたいと思っている。

また、ご提案いただいた赤塚植物園の現地視察についても計画したいと思っている。

第2回緑と公園の推進会議については、9月頃を開催予定としている。詳細な日程については、決定次第、委員の皆さまにご連絡差し上げる。

本日の議事録については、まとまり次第、委員の皆さまにお送りする。皆さまからの指摘を反映した会議録を作成して、公表していきたいと考えている。引き続きよろしく願います。

それでは本日は長時間となったが、皆さんご協力いただき感謝する。